

## ＝高専機構＝

### 奈良高専学生が河野理事長、河村理事へ国際生物五輪銅メダル受賞報告

去る7月25日、奈良高専物質化学工学科3年の竹内準二君が国立高専機構本部田町C I Cオフィスを訪問し、河野理事長、河村理事へ第18回国際生物学オリンピック銅メダル受賞の報告を行った。

国際生物オリンピックは、生物学教育のレベルアップや、生物学を学ぶ学生の国際交流を推進すること等を目的に1990年から毎年開催されているコンテストで、今回はカナダのサスカトゥーン市で開催され、49の国と地域から196人もの参加者があった。全18回のうち、高専生としては初の大会出場で初受賞の快挙。試験は筆記と実技が実施されるが、実技の経験の少ない竹内君は、特別教育訓練や近隣の大学の教授による講義を受けるなど、試験対策には苦心した。面談では、試験に関する苦労談やカナダでの生活の様子を中心に盛り上がり、終始和やかな雰囲気であった。

今後は、オリンピック委員会の主催するシンポジウムでプレゼンテーションを行うなど、多忙な日々が続くが、「今後もチャンスがあれば挑戦したい。」と抱負を語った。

これに対し、河野理事長から「受賞は大変な事だが、出場するチャンスが与えられること自体も難しいこと。今後もチャンスを得られるように頑張ってもらいたい。」と激励の言葉があった。

#### ①前列右河野理事長、前列左竹内さん、後列右河村理事、後列左三木准教授



②握手をする河野理事長と竹内さん

